

JDN ワークショップ報告書

平成 29 年 2 月 15 日セミナー企画担当：淀川キリスト教病院 柴田綾子

- ・タイトル：健康の社会的決定要因を知り、本質を突く力をつける！
- ・日時：2017 年 2 月 12 日（日） 10：20～11：50
- ・場所：東京大学本郷キャンパス
- ・対象：総合的な医療を目指す専攻医、若手医師および初期研修医
- ・講師
 - ・東北大学 歯学研究科 助教/ JPCA 健康の社会的決定要因検討委員会 坪谷 透
 - ・東京大学大学院 医学系研究科 社会医学専攻 健康教育・社会学分野博士課程
JPCA 健康の社会的決定要因検討委員会 長谷田真帆
 - ・NPO 法人 D-SHiPS32 NPO 活動家/薬剤師/ビジネスコンサルタント 上島実佳子

私達は医師として医療をとりまく社会的課題へどのようにアプローチできるのだろうか？ JDN セミナーでは、日本プライマリ・ケア連合学会の若手医師のための家庭医学冬期セミナーにおいて、「医療を取り巻く社会的課題を知り、若手医師が出来る事を考える」を目標に健康の社会的決定要因(SDH:Social Determinants of Health)のワークショップを開催しました。

50 名の定員はすぐ満員となり、当日は医学生から卒後 10 年目以上の 48 人の参加者が一緒になって、社会的要因が人々の健康や病気に与える影響についてディスカッションを行いました。ワークショップの前半では、SDH についてミニレクチャーを行い、目の前の患者の疾患を治療するだけでなく、その裏にある原因や増悪要因について考えることの重要性について、心筋梗塞を例にして学びました。

その後、医療受診、タバコ、食事、運動の 4 つのグループに分かれ、ミクロからマクロまで、どのような社会的決定要因があるかをポストイットに書き出し、模造紙を使ってそれらの関係性を考えました。次に、模造紙に浮かび上がってきた社会的要因や障害に対して、私達医師が現場でどのような介入ができるのかアイデアを出し合いました。

さらに、社会的課題へのアプローチ方法として NPO 法人という形で活動し、障害者と健常者の溝を埋め、障害者がスポーツをできる機会を増やす試みをされている上島実佳子氏(D-SHiPS32)を迎えて活動のコツについて伺いました。上島氏から、社会的課題へ取り組もうとするとどうしても難しくなりがちだが、大事なのは「自分たちが楽しんで活動すること」「ワクワク・ドキドキ」を作って伝えることが活動を広める上で重要であるとアドバイスを頂きました。

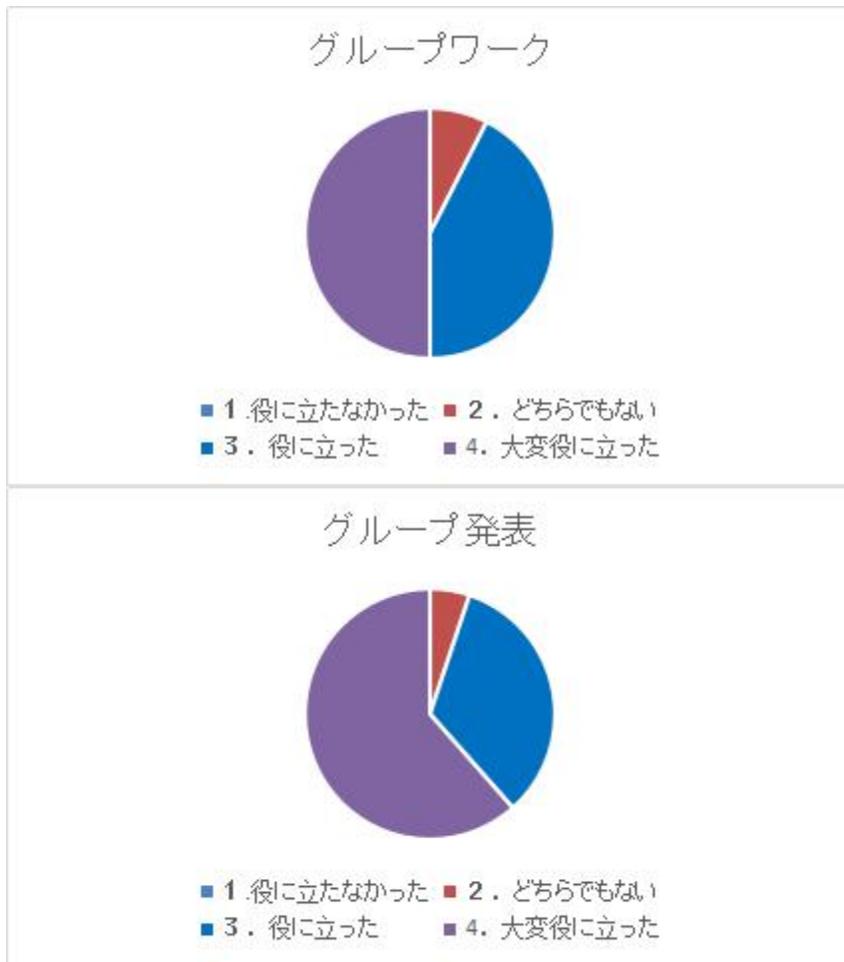
ワークショップの最後に、医療受診、タバコ、食事、運動における社会的決定要因と医療現場で介入するためのアイデアをグループ同士で共有し、明日からの診療で少しでも役立てることを目標としました。

JDN では、若手医師がこれからの日本の医療に必要な知識や技術を、専門分野の垣根を超えて学ぶ場を提供するための活動を続けていく予定です。

今後共、ご支援とご助言をどうぞよろしくお願い致します。

○当日の写真 <https://www.icloud.com/sharedalbum/ja-jp/#B0DJtd0XmG2WPv0>

○事後アンケート 回収 42 名

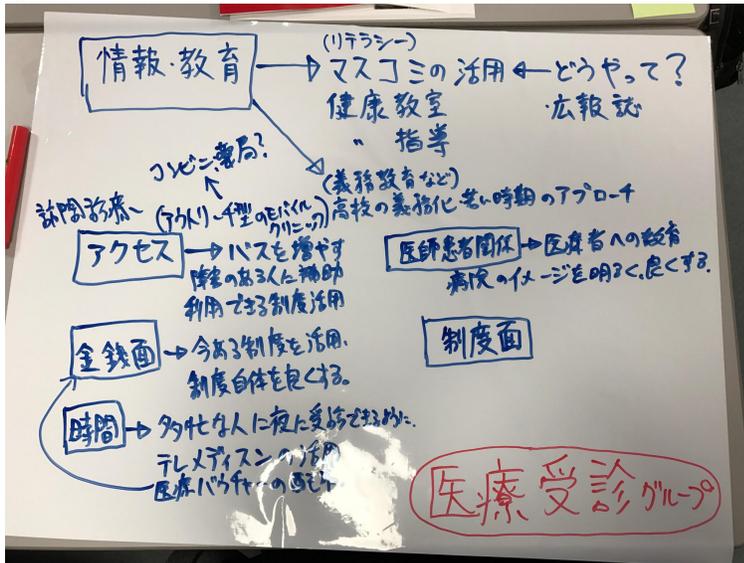


○頂いた意見(一部)

- ・非常にためになるワーク。SDH ってと思っている人たちにはとても理解しやすいと思う。次回アドバンストを作ってもいいかも。
- ・短い時間でたくさん考えさせてもらい勉強になりました。NPO（非医師）を加えたWSは新鮮でよかったです。Dr へのニーズを聞いてみたかったです。
- ・違うテーマのグループワークの発表を聞いたのがよかったです。発表で大部分使っていたので、発表は数分で、など制限するアナウンスをいただくとディスカッションの時間に長く使えていいと思いました。
- ・もう少し時間をかけたかった。他グループのアイデアも聞きたかった。ワークはあわただしかったです、ファシリテーターの先生がよくまとめてくださったと思います。

- ・今後勉強や知識を得ていくための本や場などの情報を教えてほしい。
- ・SDHのレベルまでディスカッションが行きつかなかったように思います。レクチャーをもう少し具体的にいただけたら議論が深まったかと思います。
- ・2グループでの共有はいいですね。話し合いの内容、他のグループのシートをPDF等で共有してもらえたらと思います。
- ・SDHに関する知識と行動のギャップが大きくもやもやが増した。国や地域の誰がSDHに関わろうとしているのか見えずらい。
- ・メディカルリテラシー、ポピュレーションアプローチについて学びたい
- ・SDHの具体的な介入方法、地域ごとでの適用方法などを学びたい
- ・WSをうちの病院でもやってほしいと思いました。
- ・SDHの応用版もワークショップしてほしいです。

○模造紙のアイデア



○グループ発表の様子

